

令和5年度 第1回 社会教育委員会議 議事要旨

会議の名称	令和5年度 第1回 社会教育委員会議		
開催日時	令和5年6月10日(土) 13時30分から15時40分まで		
開催場所	広陵町役場 3階 大会議室		
出席委員の氏名及び人数	岡田誠治 委員、河村円 委員、阪口充弘 委員、 田畠美知香 委員、羽野雅也 委員、吉村真知子 委員 <u>計6人</u>		
出席職員の職、氏名及び人数	教育長 植村佳央、教育振興部長 村井篤史 生涯学習文化財課：課長 尾崎充康、係長 平岡禎啓 主事 鶴山真委、参与 吉村昌代 スポーツ振興課：課長 坪水裕子 図書館：館長 尾藤肇子 <u>計8人</u>		
公開・非公開の別	公開	傍聴者	0人
議題			
<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 教育長あいさつ 4 議長及び副議長の選出 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 社会教育委員の年間活動・行事について (2) 令和5年度広陵町生涯学習事業計画について (3) 世代間交流事業について (4) その他 6 事務連絡等 			
会議の記録(要旨)			
発言者	発言要旨		
1 開会			
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・配付資料確認 		
2 委嘱状交付			
教育長	任期第1回目の会議に際し、教育長から委員の委嘱が行われ、各委員が委嘱状を受領した。		
3 教育長あいさつ			
教育長	出席謝辞。 今日で6月が始まって10日となった。梅雨が始まり、日々の気		

温も高くなっている状況で、辺りを見渡せば、田植えが始まっている。そういった中、近畿地方に梅雨入り宣言が出されたのは、5月29日。ちょうど10日ほど前になるが、6月2日にはこの辺り一帯と、九州、四国、近畿、東海地方に大雨洪水警報が出される大雨となった。広陵町内でも河川の水かさが増え、大場地区においては民家が3軒ほど床下浸水の被害にあった。また、町内の至る所で冠水が見られた。これから先、こういう形で大雨がかなり心配される状況があるが、皆さんも注意していただきたい。

社会教育委員の皆さんには、ご多用のところ、土曜日の午後にも関わらず、会議にご出席をいただいた。

ただ今、私の方から委嘱状の交付をさせていただいた。

以前、委員をしていただいた方がお仕事の関係で続けることが難しいということで、新たに新委員に入っていた。

新委員には、議長のもとで、美浜町に海体験をはじめ、さまざまな事業に行っていた。

また、元校長でもあり、教育委員会にも指導主事として6年間勤務されていたので、子どもの状況や教育について分かっておられたこともあり、社会教育委員になっていただいた。

5月8日からは、新型コロナウイルス感染症も2類から5類に変更された。マスクも私はしていないが、皆さんはまだマスクをされている状況である。マスクも取っていただけたらと思う。

5月の中旬から下旬にかけて、学校、幼稚園を訪問した。幼稚園や小学校の低学年は、マスクを外している状況であったが、高学年になれば、ほぼマスクをしている状況であった。訪問先の校長にも話していたが、マスクをしていて目尻だけで怒りとか笑いとか、その判断が難しい。特に小さな子どもに対しては、人の表情は口元にかかなり現れるということもあり、小さな子どもには申し訳ないがマスクを外して笑顔で教えるように伝えた。人の笑顔はとても大切だと考えている。

テレビを見ていると、怒っている顔と不安な顔は、目だけでは分からないとのことであった。口元が人の表情を豊かにする。

社会教育委員の皆様も、それぞれの職場でも、外していただければありがたいと考えている。

本日の議題については、社会教育委員の年間活動について、令和5年度の生涯学習事業計画について。昨年度もいろいろと議論をいただいていた世代間交流事業の3点について議論いただきたい。

その他についても、事務局から話があると思うので、第1回社会教育委員会会議でのご議論をよろしく願います。

今後も、社会教育の充実のため、ご尽力いただくようお願いするとともに、この後の議事がスムーズに進むよう、よろしくお願いして、私の挨拶とする。

4 議長及び副議長の選出

(1) 議長及び副議長の選出

事務局

議長及び副議長の選出についてどのようにさせていただいたら良いか。

委員

これまで議長をしていたが、この度交代したい。

	事務局の腹案としての考えは。
事務局	<p>ただ今、委員から事務局の腹案について提案いただいた。 事務局としては、これまでのご経験から、議長に田畠委員、副議長に阪口委員を推薦したい。</p> <p>(拍手。)</p> <p>田畠委員、阪口委員、お受けいただけるか。</p> <p>(受けていただけるとのことで、拍手をもって承認。)</p>
(2) 議長就任あいさつ	
議長	<p>ただ今、議長に推薦いただいた。このような錚々たる顔ぶれの中で務まるのであろうかとの思いが強く、緊張している。</p> <p>皆様のご協力をいただき学びながら、引き受けた限りは一生懸命努力させていただきたいので、委員皆様のご協力をよろしく願います。</p>
(2) 副議長就任あいさつ	
副議長	<p>普段見慣れない景色に座っている。経験年数が長いこともあり、そういった面で議長をサポートしていきたいと考えているので、よろしく願います。</p>
5 議事	
(1) 社会教育委員の年間活動・行事について	
議長	<p>それでは、皆様のご協力をいただきながら、議事を進めたい。</p> <p>まず、議題の1番社会教育委員の年間活動・行事について、事務局に説明願う。</p>
事務局	<p>「資料1 社会教育委員年間活動・行事」に基づき、事務局から社会教育委員の年間活動及び参加行事等について説明。</p>
議長	<p>ただいまの事務局からの説明について、何かご質問ご意見等は。</p> <p>(質疑等なし。)</p>
(2) 令和5年度広陵町生涯学習事業計画について	
議長	<p>続いて、議題の2番、令和5年度広陵町生涯学習事業計画について、事務局に説明願う。</p>
事務局	<p>「資料2 令和5年度 広陵町生涯学習事業計画書」に基づき、事務局の各事業所管担当課から事業概要について説明。</p>
議長	<p>令和5年度広陵町生涯学習事業計画について事務局から説明があ</p>

	<p>った。このことについて、ご意見やご指摘又は質問は。</p>
<p>委員</p>	<p>社会教育委員の活動については、町の文化芸術推進基本計画の中に、たくさん盛り込まれている。それを推進する立場、役割で社会教育委員会議からも委員を輩出している状況にある。</p> <p>その中にはたくさんの数値目標や管理目標が書かれている。それは年度ごとに書かれているが、それに到達できた指標もあれば、到達できなかった指標もあるし、大幅に実績が超えた計画も出てくる。その辺を事務局としても、教育委員会としても計画に対して実績はどうであるかを常に頭に置きながら、文化芸術推進審議会に資料を提供すべきであろうと思っている。その目標が達成できる施策なのかどうかなどの検討も事務局で考えていただき、もし、達成できないということがあれば、速やかに修正をするなり、新たなてこ入れをするなり、また、逆に目標以上の成果が上がっているというのであれば、目標を変更するなり、新たなものを採用するなりといった事を考えてほしい。当然、事務局だけではなくて、社会教育委員もその辺に目を向けながら、町の文化芸術推進基本計画は社会教育委員の担うところも多いので、進めて行ければと考える。</p>
<p>事務局</p>	<p>社会教育や生涯学習について、広い領域がある。その中の一つとして、文化芸術の推進ということで、計画が定められ、その審議会に委員にご出席いただいている。</p> <p>今現在、文化芸術推進審議会では、計画に定められたさまざまな指標について、その指標の達成度を評価するためのシート作りに入っている。</p> <p>こちらの生涯学習事業計画書については、費目毎での大きな括りになっているが、文化芸術推進審議会の評価シートでは、文化芸術に関する事業毎に分けて、さまざまな点検項目を上げて、評価することになっている。</p> <p>そういった細かい指標も文化芸術分野で、でき上がってきているので、それとリンクするような形で、この生涯学習事業計画の結果を、文化芸術推進基本計画にある数値目標の達成状況と照らし、分かりやすい資料を作成し、この大きな括りのものと、細かなものとを照らし合わせながら議論できるように、事務局としても段取りをしたいと考えている。</p> <p>先程、お話のあった「文化芸術推進基本計画」は、10年間の長期目標であり、短期目標、中期目標、長期目標という形で、指標を定めている。その中で、短期で達成できたものについては、それで満足するのではなく、より上を目指そうではないかということで、上の指標を設けるのも当然あると考えており、10年計画であるものの、途中で計画の見直しであったり、指標の見直しというもの、当然あると考えている。よって、生涯学習事業計画についても、より上の指標になるものについては、より上を目指すような形とさせていただく。</p> <p>また、達成が不十分なものについては、てこ入れをするような形で進めてまいりたいと考えるので、そういった面でも皆さまからの忌憚のないご意見であったり、アドバイスをちょうだいできたらと考えている。</p>
<p>(3) 世代間交流事業について</p>	

議長	<p>続いて、議題の3番、世代間交流事業について、事務局に説明願う。</p>
事務局	<p>「資料3 世代間交流事業（案）【仮称】広陵町魅力再発見ウォーク」に基づき、事務局説明</p>
議長	<p>この事業については、社会教育員会議主催ということで、私としては、事務局から、たたき台としての案を提示されたと認識している。これについては、私も一委員として議論に加わりたいと思うので、事務局に進行を任せたいが如何。</p> <p>※ 異論なく承認</p>
事務局	<p>それでは、議長に代わり進行をさせていただく。 前回の会議で、11月は文化祭をはじめとする事業が立て込むため、12月又は3月での設定ということであり、早い方の日程として12月で設定させていただいた。 その中で、他の事業日程等から、12月17日の日曜日として提案させていただいたが、その日を正式に設定したいと考えるが如何か。</p> <p>※ 異論なく承認（令和5年12月17日（日））</p> <p>また、校区の設定については、たたき台として北校区と設定したが、社会教育員会議主催事業として委員皆さまの議論をお願いしたい。</p>
委員	<p>社会教育員会議が主催する事業なので、町の事務局になるべく負担をかけないような開催ができれば良いと思う。 町が計画を立ててそれを承認するという格好ではなく、こういうアイデアを入れようであるとか、今までとは少し違ったことをしようかなど、委員から意見を出し合って、なるべく子どもたちが大勢集まって楽しめるような企画にしていきたい。 9月に第2回の会議ということであるが、当然パークゴルフ大会にしても20年続いた行事であったので、ある程度下地が全部あった。毎年の実施については、それほど苦勞なくできたが、今回は第1回ということでもあるので、私の感じでは月に2回程度は集まって論議をしないと良い計画にはならないのではないかと思います。 当然、9月の会議までには3～4回程度は集まって、いろんな意見を出し合いながら進めることが必要になるのではないかと思います。 もう一つ、社会教育員会議主催の行事でもあるが、社会教育委員だけではなくて、今の案であれば文化財ガイドの皆さんにも声を掛けてということがあるが、例えば、櫛玉神社の保存会の人に声を掛けたり、教行寺の住職さんにも話をし、お堂の中を見せてもらったり、幅を拡げて、いろんな人を巻き込んで行事ができれば、社会教育委員だけの行事ではなくて、社会教育員会議が計画することによって、地域みんなが集まって何かができる。そこに子どもたちが参加できるといった行事が良いと思う。 少なくともルート上でどのような事をしようかなど、今月中にも</p>

	<p>う一度開いたり、7月に入っても2回ほど開いたりということが必要であろうと考える。</p>
委員	<p>先程、委員がおっしゃったように、いろいろな人がこれを機会に交流できるようなイベントになったら良いと思う。</p> <p>やはり、細かなところを一つのイベントをするのに多く決めなければならない。</p> <p>本当に細かな話になるが、ポイントラリーで回る時に、75人が一斉に回るのか、逆方向からも回っていくのか、子どもがいるのであれば、どこかで休憩をとらないと難しいのではないかなど、細かな事がたくさん出てくると思う。</p> <p>工程表のような物を作って、問題点を洗い出しながら進めて行かないといけないと思うので、基本的な事は、8月の広報に載せるまでに固めなければならないのではないかな。そうすると、今言われたように9月の委員会までに何もしないということは難しい。</p>
委員	<p>初めて参加する立場で、これまで開かれていたパークゴルフ大会は知っているものの、参加したことがなかった。そういった中で意見を言うことはおこがましいが、新たな事業をするには非常に大きなエネルギーがいると思う。人を動かすのであれば、いろんな事に配慮して、最悪の状況を想定して計画を練らないと何が起こるか分からない状況があると思う。</p> <p>先の意見のように、私もこの予定でどこまでできるのかという事を率直に思っていた。</p> <p>もう一点、年齢制限なしということで、乳幼児を連れて来られたらベビーカーで行く。また、おむつの交換。歩く速度、1歳、2歳の子ども、そういったところまで考えていかないと。だからどうしたら良いのかということとは分からないが、幅広くとなったら、いろんな事を考えていくということで話し合わなければならないので、時間が必要と考える。</p>
委員	<p>箸尾の周辺をあまり知らなかったもので、今日午前中に自転車でコースを回ってきた。</p> <p>ウォークラリーをするには、ちょうどコンパクトにまとまっていて良いと思った。</p> <p>とても興味を持って回っていたが、道幅が狭い所もあって、それがどれ位の人数で回れば、周辺の住民の方や自動車の通行に迷惑にならないかという形で考えなければならない。</p> <p>コースとしては、とても興味を持って回った。先程からいろいろと意見のあるようなことを、細かなところまで考えて実施していかなければならないと思う。</p>
副議長	<p>前回の会議で初めてこの話が出てから、事務局がこうやって、ここまで作っていただいたので、非常に感謝している。</p> <p>もともとこれが世代間交流事業というところなので、そこをまず外してはいけないのではないかな。グループを持っていくところで、各世代と一緒に協力しながら回るというように、その中心となる考え方というものを大事にした方が良いと思っている。</p> <p>そういうことで考えると、内容でスマートフォンで、写真を撮ってもらって投稿するというような場面であれば、例えば、若い方が</p>

	<p>高齢者にこうやって投稿したら良いのだと教えるようなところは、うまく使っていけば良いのではないかと思っている。ルートについては、西校区などの場合は、産業もという話が出ているが、北校区であるものは、割と史跡というか古い所ばかり有名であるが、今の広陵町を知ってもらおうというところは、何か盛り込んだ方が良さそう。もうちょっと楽しめるというか。若い方やお子さんが回ってお寺ばかりというよりも、今、頑張っておられるお店とか産業とかという所も一緒に巻き込むような仕組みもあっても良いのではないかと思う。</p>
<p>議長</p>	<p>私は北校区の住民であり、いつも見慣れた景色ばかりであるが、一応、全員でも数人でも良いので、何人かで実際に歩いてみて、時間配分であったりだとか、休憩できる所であったり、トイレとかというのをきっちり把握した上で、もっと細かな事を調整していく必要があるのではないかと思った。</p> <p>また、いろんな団体に声を掛けて、参加者が多く来ていただけるようにしていくことが大事だと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。皆様からさまざまな意見をいただきました。今回、事務局から提案させていただいたのは、たたき台としての雑駁な内容であり、細やかな配慮をしなければならないポイントや、安全確保の面であったり、また、見て回る先が「再発見」ということで、文化財など古いものが中心であることから、新しい所も入れて新しい広陵町を知っていただくことや、交流をしていただくという意見も出していただいた。そこで、どういった所を挙げていくのか、どういったところに配慮すべきなのかということについて、日を設定していただいたら、会議室等を確保できるので、委員の皆さまにお集まりいただき、そこに事務局も入らせていただいて議論を深めていけたらと考えている。</p> <p>委員がおっしゃったとおり、あくまでも世代間交流事業であるので、回るグループ内で世代間で交流できるような仕掛けを外すことはできないという根本的なご指摘をいただきました。</p> <p>世代間交流事業であるからには、世代間での協力や、年配の方から子どもに「昔はこのような所であった」などの会話が生まれることを期待しながら、事務局としてもサポートしてまいりたいと考えている。また、委員には、今日の朝から実際に自転車で回っていただいたということで、道路が狭いという面がネックでもある。特に広陵町、北小学校区もそうであるが、東小学校区も西小学校区も道路が狭い所をゾロゾロと歩くので、安全確保の面が問題になってくると思うが、そういうことも含めながら、対応してまいりたいと考えている。</p> <p>また、社会教育委員会議の事業として、ポイント上だけではなくて、さまざまな団体や、地域の人が関わるような仕掛けということをご提案いただいた。</p> <p>やはりそういうところでのパイプや、さまざまなところのつながりも大切だと考える。</p> <p>委員の皆様のコミュニティの中のつながりや、つながらないところについては、事務局がお手伝いすることもできる。</p> <p>どういったところと取り組んでいくのかについては、当然のことながら、掲載しているものについては、まだアポを取っていない。</p>

	<p>またそういうところでもアポどりであったり、どういった所を計画するのかの下見も含めて、事務局でお手伝いさせていただこうと考えているので、委員の皆様の中でどういった形で実施していくのかというところを、しっかりと話し合いながら進めていただけたらと思う。事務局としては、その結果を踏まえて、サポートをさせていただきたい。</p>
委員	<p>今、議長がおっしゃったように、この6人で事務局も入れて、一度、現地を歩かないか。現地を見てみて、いろんな話を今週でも来週の土日でも皆さんの都合はいかがか。それから少なくともこの6人と事務局で連絡を取り合わないか。何かと便利で、日程調整が便利である。</p>
事務局	<p>一度、事務局で歩かせていただいたが、あくまでも事務局目線で見たものである。皆さんそれぞれの視野から見えてくるものが違ってくるかも知れないし、新たな気づきもあると思うので、ぜひ日を設定させていただいて、近々歩く機会を設けたい。</p>
委員	<p>少なくとも、先程の話が出たように、「広陵町の民話」の冊子の中には、箸尾の地蔵会式の時に子どもたちが集まってお菓子を貰うのはここだとかという「六字名号」の話であるとか、櫛玉神社にある「くさ神井戸」の話、箸尾城跡の話、赤坂山の話、タヌキが出てくる寺戸の話（権現狸）とかが出てくる。それらと絡めるのであれば、ちょっと場所的に遠回りになるので、少しどうかと思うが、「広陵町の祭り」の本と一緒にするなら、櫛玉神社の地車の話もたくさん出てくる。</p>
事務局	<p>回って行くポイントもそうであるが、その中にこれまでの社会教育委員会議の活動の蓄積として、「広陵町の民話」とか、「広陵町の祭り」の冊子があるので、そういったものから当日のしおり等に出して作っていただけると良いと思う。 まずは、下見の日程調整を。 (下見の日程が決定した。) それでは、進行を議長にお返しする。</p>
(4) その他	
議長	<p>議題の4番、その他について、「令和6年「二十歳のつどい」開催について」、「広陵町文化祭開催について」事務局に説明願う。</p>
事務局	<p>「当日配付資料2 令和6年「二十歳のつどい」開催について」、「当日配付資料3 広陵町文化祭開催について」に基づき説明。</p>
議長	<p>その他について、「令和6年「二十歳のつどい」開催について」、「広陵町文化祭開催について」事務局から説明があった。このことについて、ご意見やご指摘又は質問は。</p>
委員	<p>文化祭のポスター募集でChromebookを使うのは非常に良い。</p>

	<p>中学校と一緒に、学校を巻き込んで、こういったことをずっと進めていきたい。</p>
事務局	<p>昨年、コロナ禍で開催していなかった文化祭再開に当たって、これまではポスターには前年度の写真を使っていたが、3年ぶりの再開となったことから、写真が古くて使えず、PowerPointを使ってデザインを作ったことに着想を得て、ギガスクール構想のChromebookの活用の面と新しい媒体で気軽に作品作りができるという二つの面から採用した。実際、どれだけの作品が出てくかは未知数であるが、学校にはしっかりと願う。</p> <p>手軽に作品作りに取り組み、作品を創作する楽しさや喜びを感じてもらいたい。</p>
委員	<p>「二十歳のつどい」や「文化祭」の説明をいただいた。 コロナも落ち着いて元どおりとあったが、社会教育委員の出席は。</p>
事務局	<p>文化祭については、受付等でお手伝いをいただきたいと考えている。</p> <p>「二十歳のつどい」については二部制になっていること、また、前々回から参加者にアンケートを取ると、着慣れない晴れ着のこともあり、式典部分の時間が長いとの意見が多く、式典部分の時間短縮といった面からも、出席はお願いしない方向性である。</p>
6 事務連絡等	
事務局	<p>世代間交流事業下見について、日時を確認し散会となった。</p>